

小笠原村

〒100-2101 東京都小笠原村父島西町

電話：04998-2-3111

HP：https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp.



小笠原村の概要

小笠原村は、東京から南へ約1,000kmの太平洋上に位置します。イルカやクジラの暮らすボニンブルーの海に囲まれた村です。小笠原群島（聳島、父島、母島列島）、火山列島（硫黄列島）、三つの孤立島（西之島、南鳥島、沖ノ鳥島）から成っています。（現在村民が居住できる島は、父島と母島のみです。）亜熱帯海洋性気候のため、1年を通して比較的暖かいです。

小笠原諸島は誕生以来、一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島のため、多くの固有種・希少種が生息・生育し、特異な島しょ生態系を形成しています。そのことが評価され、2011年には世界自然遺産に登録されました。

また小笠原諸島は、太平洋戦争で島民が強制疎開となり、戦争終結後は米軍占領下に置かれ、1968年6月に日本に返還されました。戦後から23年経ち、ようやく島民の帰島がかなったという歴史があります。

（欧米系島民の帰島は1946年に認められています。なお、硫黄島への帰還は未だ叶っていません）

現在の小笠原村には、父島には約2,000人、母島には約500人が暮らしています。19世紀から島にいた欧米人のルーツを持つ欧米系島民、戦前から住んでいる旧島民、戦後移住してきた新島民からなります。若い世代の移住者が多く、観光客も1年中来島するため、活気のある島です。

生活環境

交通

定期船おがさわら丸が6日に1便、東京と父島を行き来しています。
父島母島間は、定期船ははじめ丸が運航しています。
父島と母島は50キロ離れていて船で2時間です。



子育て

【父島】保育園、小学校、中学校、高校

【母島】保育園、小中学校

医療

父島母島とも、村営の診療所があります。
※村内で手術はできません。

買い物

父島も母島も、島内には個人商店があります。生鮮食品は、船の入港日に商店で購入します。
その他の日用品を売る店もあります。洋服や娯楽品は、ネット通販を利用する村民が多いです。
※インターネットは内地と同じように使えます。

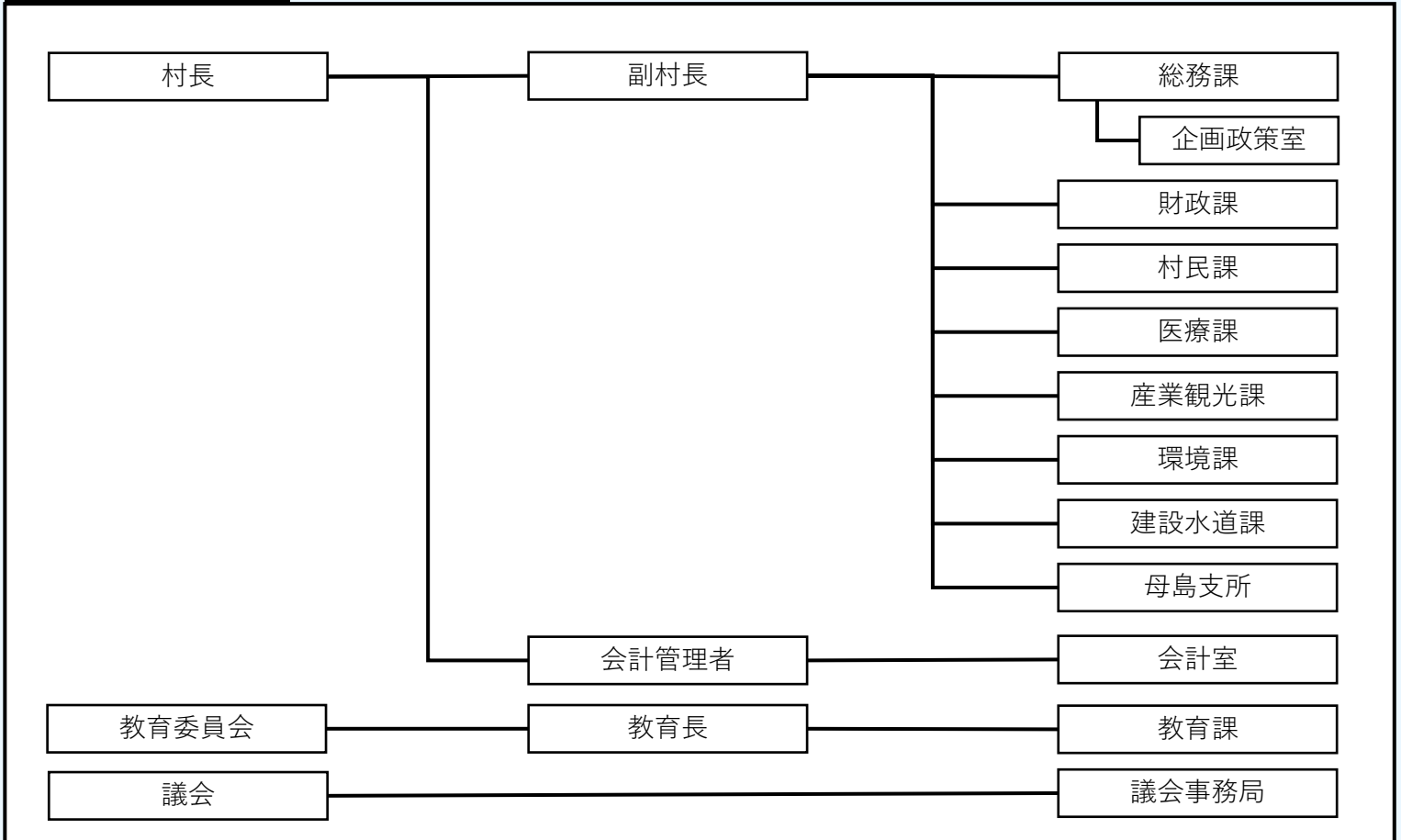
住まい

職員住宅があります。
単身用と世帯用を用意しています。

イベント

年間、様々なイベントがあります。
別紙「職員募集」をご覧ください。

組織図



求める人材



行動力

前例にとらわれず積極的に業務改善をしたり、新しいことに挑戦したりと行動できる人



協調性

円滑なコミュニケーションをとることができ、周囲と協力して仕事ができる人



向上心

小笠原村がよりよい村となるよう、任された仕事に対して、真摯に取り組むことができる人

勤務条件

■勤務時間

8：00～17：15
(12：00～13：30 昼休み)

■休暇

年次有給休暇20日
夏季休暇5日
忌引き休暇
結婚休暇
産前・産後休暇
育児休業
介護休暇 など

■休日

土・日・祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

■初任給

職種	学歴	基本給
事務職	大学卒	196,200円
	短大卒	186,892円
	高卒	186,892円

■諸手当

期末勤勉手当（年間4.5月分）
扶養手当
通勤手当
超過勤務手当 など

■昇給

年1回、勤務成績に応じて実施

数字でみる小笠原村

職員数

124人

※事務職は約60人



平均年齢

45歳

※事務職の平均

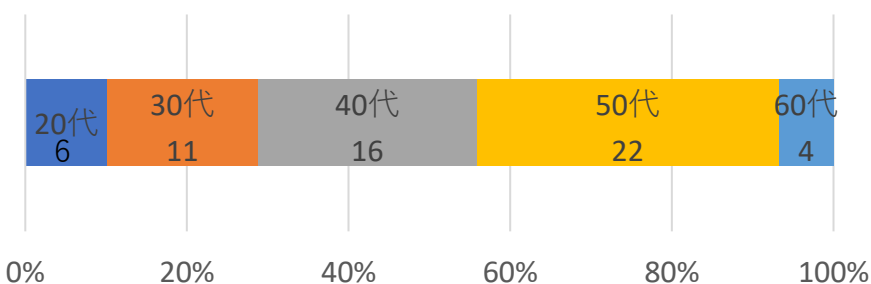


年休取得日数

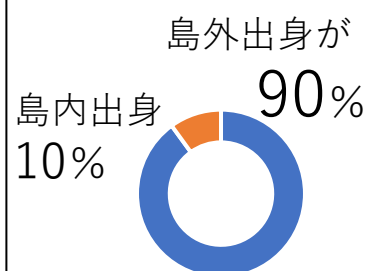
16.6日



年齢別構成 ※事務職



島外出身者割合



職員インタビュー



【事務】 総務課総務係

【入庁4年目】

【趣味・休日の過ごし方】

基本インドア派ですが、気が向いたらトレッキングをしたり、軽くシュノーケリングをしたり、天体観測をしています。

きっかけ

元々は内地で地方公務員として働く予定で採用試験を探していたのですが、小笠原村役場で職員を募集していることを知り、調べていくうちに心を惹かれ受験したのがきっかけです。

仕事内容

職員管理、人事給与を担当しています。

少数精鋭で動いているため、担当外の仕事に関わる機会も多く、デスクワークだけでない多種多様な業務を通じて、小笠原の豊かな自然や村民と触れ合い、多くの刺激を感じることが出来るかと思っています。

受験者に向けて

小規模な自治体ではありますが、その分地域住民と関わる機会も多く、住民に貢献する実感を得られる魅力があります。休暇の取りやすい環境、1時間半の昼休憩、最短五分の通勤時間のストレスフリーな環境で働いてみませんか？



【事務】 母島支所庶務係

【入庁2年目】

【趣味・休日の過ごし方】

仕事以外の時間は、バスケットボールをしたり、釣りやシュノーケリングをして楽しんでいます。通勤時間が5分と近いので、平日でも海で遊ぶことができます。

きっかけ

観光やボランティア活動等で何度か小笠原に行く中で、圧倒的な自然とオープンな人の雰囲気魅せられました。そんな小笠原に観光客の立場ではなく、島民として深く地域にかかわって働きたいと思い、役場へ応募致しました。

仕事内容

住民票発行等の窓口業務に加え、保育園・火葬場の業務にも関わっています。母島支所では課が設けられておらず、役場の業務全般に関わるため、大変さもありますが、様々な業務に携われる面白さもあります。時には急患対応で救急車の運転やヘリポート対応も行います。

受験者に向けて

個人的には非常に過ごしやすく、趣味も全力で楽しめる島だと感じますが、内地から船で24時間かかる遠隔地であることから不便さも多々あります。ですので小笠原に来たことがない方は、1度小笠原に来て、小笠原で働いて暮らすイメージを持たれるのがいいと思います。

職員インタビュー



【事務】 環境課生活環境係

【入庁2年目】

【趣味・休日の過ごし方】

休みの日は家で本を読んだりのんびりの日もあれば、海に遊びに出かけたり、友達とおでかけしたりして過ごしています。島内あちこちにカフェやパン屋さんがあるので、その日の気分でもなんでも楽しめます。

きっかけ

大学生の時ダイビングサークルで初めて小笠原に来ました。楽しい時も悩んだ時も、小笠原の海や自然の中にいると自分らしくいられました。そんな小笠原のために自分が何かできないか…と思い、大学院1年生の時に採用試験を受け、大学院2年生の勉強と仕事を並行させながら入庁1年目を過ごしました。

仕事内容

ごみ関係全般やシロアリなどの害虫に関する業務を担当しています。外作業や出張もあるので、島内外で幅広く動きます。分からないことかあれば、係長や課長のみならず前任の職員もサポートして下さる環境があるので、初めての社会人でも初めての仕事内容でも、取り組みやすいです。

入庁前後で感じたギャップ

私は島に来る前、とても楽しみだった一方で、島は狭いから仕事などでの人付き合いが大変で、本土から遠いから買い物などの暮らし面も大変なのではないかという不安もありました。入庁して感じたのは、島内では同い年をはじめ自分次第でいろんな人といろいろな関わり方ができるし、買い物はAmazOnが来ますので船のサイクルに慣れれば不便は感じません。

よくある質問

Q 年齢、性別、出身地などで有利・不利はありますか？

A 全くありません！北は北海道から南は九州まで、全国各地出身の職員がいます。

Q 民間企業から転職して職員になった人はいますか？

A たくさんいます！新卒で入庁する人より、転職の人が多いです。（新卒の方も心配しないで大丈夫です）

Q これまでの職歴は給料に反映されますか？

A 職歴に応じて加算されます。加算率は、仕事内容や勤務形態によって変わります。

Q 採用になった場合、引っ越しのサポートはありますか？

A 引っ越し費用の補助があります（上限有）。引っ越し荷物の受入等、お手伝いいたします。



ご応募お待ちしております

